

# Oak キャピタル株式会社

証券コード: 3113

〒107-0052 東京都港区赤坂八丁目10番24号 住友不動産赤坂ビル

本社 TEL.03-5412-7474 FAX.03-5412-8282

投資事業本部 TEL.03-5412-7700 FAX.03-5412-8811

URL <http://www.oakcapital.jp/>

## OAK FINANCIAL REPORT

第147期 報告書

2007年4月1日～2008年3月31日

### 株主の皆様のお声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2カ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード **3113**

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、  
いいかぶ と4文字入れて検索してください。



空メールにより  
URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)  
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも  
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、  
右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00～17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com



## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より温かいご支援と格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第147期報告書をお届けするにあたり、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

当期におけるわが国経済は、原油をはじめとする資源価格の高騰やサブプライムローン問題に端を発する金融資本市場の変動が実体経済へ及ぼす影響もあり、景気後退への懸念が強まる状況となりました。

また、そのような背景のなか、投資ファンドによる資金調達にも滞りが見られ、ここ数年高まっていた世界的規模でのM&Aの動きも減少傾向に転じました。

このような環境のなかで、当社の当期業績につきましては、株式会社ダイフレックスの譲渡など、大型のEXIT（投資回収）案件によるキャピタルゲインはありましたが、一部投資先の経営破綻により株式評価損を計上したことなどが要因となり、損失を計上するとともに配当を見送る結果となりました。

株主ならびに投資家の皆様には、多大なるご迷惑、ご心配をお掛けし、誠に慙愧の念にたえません。

当社事業の中核をなす投資事業では、投資先の株価や企業価値の変動に業績が大きく左右されます。また、年度により投資回収の件数と金額にバラつきがあるため、短期での収益の平準化が困難であるという事業特性を有しております。

そのような背景のなか、当期はダイフレックスの他に主要な回収案件の実現がないまま終えたため、損失要因をカバーすべき収益が十分に得られず、大変残念な結果となりました。

当社グループは今後、経営基盤の再構築に取り組むとともに、事業特性上の構造的要因により業績の振幅が大きく現れる状況を解消すべく、平成21年3月期を初年度とする3ヵ年の中期経営計画を策定し、収益力・成長力の回復及び財務体質の改善に努めてまいります。

引き続きご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成20年6月

代表取締役会長兼CEO 竹井博康

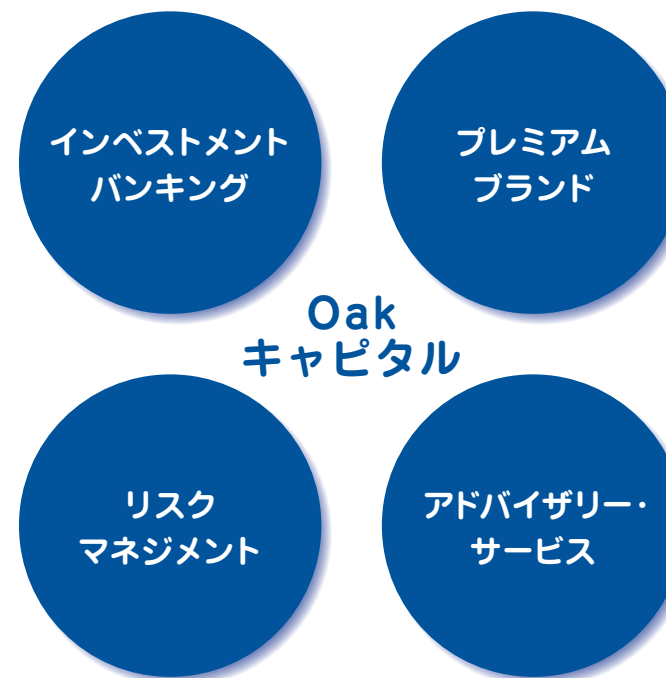
## 中期経営計画（平成21年3月期～平成23年3月期）

### 中期経営ビジョン

当社は当事業年度以降3ヵ年の中期事業計画において、経営基盤の再構築に取り組むとともに、既存の投資事業に加え、安定的なキャッシュ・フローを生み出す新規事業を確立することにより、成長力と収益力の回復を図ります。

また、年輪を重ねて大木に育ち、「強靱さ」「活力」「成長力」の象徴とされる「オーク」の名に相応しい存在として、事業を通じた付加価値の提供と、中堅優良企業に対する投資と成長支援を通じ、社会に貢献することを企業理念といたします。

### 新事業体制



#### インベストメントバンキング事業

リスク管理（投資先の厳選強化）と収益の最大化（優良投資先の発掘とバリューアップ）に重点をおき、投資回収の観点からの効率性を重視する体制へと変革

##### <出資先選定基準>

- I 強いブランド力
- II 大きなマーケットシェア
- III 高い技術力

#### プレミアムブランド事業

将来性のあるプレミアムブランドを投資対象として発掘し、安定した営業キャッシュ・フローの獲得と当社グループ全体の企業価値向上を追求

#### コンサルティング事業

##### i) リスクマネジメント

保険代理業務に本格参入し、高品質の代理店業務および派生するリスク管理分野の総合サービス業務を展開

##### ii) アドバイザリー・サービス

インベストメントバンキング事業を通じて得たノウハウを活用し、M&Aアドバイザリー、財務アドバイザリー、事業コンサルティングなどのフィービジネスへの取り組み

## 主な出資先企業のご紹介

### 〈インベストメントバンキング事業〉

|                                      |                         |
|--------------------------------------|-------------------------|
| 日本コーバン株式会社                           | ホログラム、レンチキュラー製品の販売等     |
| K Laser Technology Inc.              | ホログラム製品の世界トップレベルメーカー    |
| K Laser China Group Co., Ltd.        | 中国のホログラム事業会社を傘下に持つ持株会社  |
| 株式会社ジー・コミュニケーション                     | 学習塾・外食チェーンの運営           |
| 株式会社キャドセンター                          | CG映像の企画・制作              |
| 株式会社ゴンゾロッソ                           | オンラインゲームの企画・運営          |
| 株式会社ジー・ネットワークス                       | 「長崎ちゃんめん」「敦煌」などの外食チェーン  |
| 株式会社京写                               | プリント配線基板の製造・販売          |
| Biosensors International Group, Ltd. | 心疾患治療用冠動脈ステントの技術開発・製造販売 |

### 〈プレミアムブランド事業〉

|                |                      |
|----------------|----------------------|
| クリストフルジャパン株式会社 | 最高級シルバーウェア・ブランドの販売   |
| 株式会社山田平安堂      | 宮内庁御用達の老舗、高級漆器販売の最大手 |
| ADIRON 株式会社    | 海外ブランドバッグ等の販売        |

### 〈コンサルティング事業〉

|                     |        |
|---------------------|--------|
| ピーエスエル・インシュアランス株式会社 | 保険代理店業 |
|---------------------|--------|

## 経営成績

### 個別

#### 売上高

**4,669**百万円

- 有価証券の短期運用による収益

#### 営業利益

**△3,390**百万円

- 売買目的有価証券の時価評価損（バイオセンサーズ株式）及びファンド投資先の損失で売上総利益 △2,079百万円
- 販売費・一般管理費1,311百万円を計上

#### 経常利益

**△3,350**百万円

個別業績におきましては、売買目的有価証券として当社が株式を保有するバイオセンサーズ・インターナショナル・グループ・リミテッド社（シンガポール証券取引所上場）が平成20年1月に、自社開発の中核技術に関する欧州共同体での規格認証（CEマーク）を取得したことなどが株価の下支えとなり、同社株式の評価損は6億57百万円（前期比5億97百万円の改善）に止まりましたが、年明け以降の株式市場の急激な下落相場に対し、防衛的にその他の保有株式の売却を進めたこともあり、売上総損失は20億79百万円となりました。

EXIT（投資回収）案件といたしましては、連結子会社であった投資先の株式会社ダイフレックスの譲渡に伴い、キャピタルゲイン12億65百万円を特別利益として計上いたしました。

一方、投資先のひとつであった新潟精密株式会社が、平成20年1月31日付で民事再生法の適用を申請するなどの外部要因及び景気後退懸念を背景に、各投資先の業績への影響を見込み、保守的に財務上の手当てを行いました。これにより、営業投資有価証券評価損11億65百万円、関係会社株式評価損7億38百万円、貸倒引当金繰入額9億4百万円を計上いたしました。なお、これらはいずれも新たなキャッシュ・アウトフローを伴うものではありません。

以上の結果、当期の個別業績は、売上高46億69百万円（前期比、31億47百万円減）、営業損失33億90百万円（同、11億46百万円増）、経常損失33億50百万円（同、11億93百万円増）、当期純損失49億4百万円（同、9億78百万円増）となりました。

### 連結

#### 売上高

**17,084**百万円

- ダイフレックスEXITによる影響

#### 営業利益

**△3,267**百万円

- 個別の要因による影響
- 販売費・一般管理費5,704百万円を計上

#### 当期純利益

**△4,904**百万円

#### 特別利益

- 関係会社株式売却益（ダイフレックス）……………1,265百万円

#### 特別損失

- 営業投資有価証券評価損（新潟精密、他）……………1,165百万円
- 関係会社株式評価損……………738百万円
- 貸倒引当金繰入額……………904百万円

#### 経常利益

**△3,339**百万円

- 個別の要因による影響
- 各子会社の支払利息他

#### 当期純利益

**△4,331**百万円

- 個別の要因による影響

連結業績におきましては、上期にEXIT（投資回収）を行った株式会社ダイフレックス及びその子会社を連結の範囲から除外したことにより、同社の下期以降の業績が連結業績に反映されないため、産業資材事業の売上高、営業利益が減少いたしました。

また、ADIRON株式会社は、平成19年10月3日にブランド激戦区である銀座にイタリアブランドバッグの「フランチェスコ・ピアジア」の路面店を初オープンいたしました。しかしながら、個別業績における損失を主な要因として、当期の連結業績は、連結売上高170億84百万円（前期比、72億55百万円減）、連結営業損失32億67百万円（同、11億88百万円増）、連結経常損失33億39百万円（同、12億42百万円増）、連結当期純損失43億31百万円（同、7億6百万円増）となりました。

# 個別財務諸表等＜要旨＞

貸借対照表 2008.3.31 (単位:百万円)

| 科 目      | 当期     | 前期     |
|----------|--------|--------|
| 資産の部     |        |        |
| 流動資産     | 6,014  | 7,769  |
| 現金及び預金   | 1,922  | 2,594  |
| 売掛金      | 149    | 148    |
| 営業投資有価証券 | 2,298  | 3,665  |
| 短期貸付金    | 2,581  | 1,366  |
| その他      | 63     | 91     |
| 貸倒引当金    | △1,001 | △96    |
| 固定資産     | 3,708  | 7,041  |
| 有形固定資産   | 110    | 145    |
| 無形固定資産   | 3      | 9      |
| 投資その他の資産 | 3,594  | 6,886  |
| 繰延資産     | —      | 26     |
| 資産合計     | 9,723  | 14,837 |

注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

(単位:百万円)

| 科 目               | 当期     | 前期     |
|-------------------|--------|--------|
| 負債の部              |        |        |
| 流動負債              | 5,072  | 276    |
| 買掛金               | —      | 160    |
| 1年以内償還予定の新株予約権付社債 | 5,000  | —      |
| その他               | 72     | 115    |
| 固定負債              | 70     | 5,069  |
| 新株予約権付社債          | —      | 5,000  |
| その他               | 70     | 69     |
| 負債合計              | 5,143  | 5,345  |
| 純資産の部             |        |        |
| 株主資本              | 4,526  | 9,431  |
| 資本金               | 7,964  | 7,964  |
| 資本剰余金             | 1,445  | 4,099  |
| 利益剰余金             | △4,868 | △2,614 |
| 自己株式              | △14    | △17    |
| 評価・換算差額等          | 53     | 60     |
| その他有価証券評価差額金      | 53     | 60     |
| 純資産合計             | 4,579  | 9,492  |
| 負債純資産合計           | 9,723  | 14,837 |

注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

損益計算書 2007.4.1-2008.3.31 (単位:百万円)

| 科 目           | 当期     | 前期     |
|---------------|--------|--------|
| 売上高           | 4,669  | 7,817  |
| 売上原価          | 6,749  | 8,753  |
| 売上総利益(△損失)    | △2,079 | △935   |
| 販売費及び一般管理費    | 1,311  | 1,308  |
| 営業利益(△損失)     | △3,390 | △2,244 |
| 営業外収益         | 100    | 117    |
| 営業外費用         | 60     | 29     |
| 経常利益(△損失)     | △3,350 | △2,156 |
| 特別利益          | 1,280  | 50     |
| 特別損失          | 2,834  | 1,819  |
| 税引前当期純利益(△損失) | △4,903 | △3,924 |
| 法人税、住民税及び事業税  | 1      | 1      |
| 当期純利益(△損失)    | △4,904 | △3,925 |

注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

株主資本等変動計算書 2007.4.1-2008.3.31 (単位:百万円)

|                             | 株主資本  |        |        |      |            | 評価・換算<br>差額等 | 純資産合計  |
|-----------------------------|-------|--------|--------|------|------------|--------------|--------|
|                             | 資本金   | 資本剰余金  | 利益剰余金  | 自己株式 | 株主資本<br>合計 |              |        |
| 2007年3月31日 残高               | 7,964 | 4,099  | △2,614 | △17  | 9,431      | 60           | 9,492  |
| 事業年度中の変動額                   |       |        |        |      |            |              |        |
| 資本剰余金の取崩による<br>欠損填補         |       | △2,650 | 2,650  |      | —          |              | —      |
| 当期純損失                       |       |        | △4,904 |      | △4,904     |              | △4,904 |
| 自己株式の取得                     |       |        |        | △2   | △2         |              | △2     |
| 自己株式の処分                     |       | △2     |        | 4    | 1          |              | 1      |
| 株主資本以外の項目の<br>事業年度中の変動額(純額) |       |        |        |      |            | △7           | △7     |
| 事業年度中の変動額合計                 | —     | △2,653 | △2,254 | 2    | △4,904     | △7           | △4,912 |
| 2008年3月31日 残高               | 7,964 | 1,445  | △4,868 | △14  | 4,526      | 53           | 4,579  |

連結財務諸表等＜要旨＞

連結貸借対照表 2008.3.31 (単位:百万円)

| 科 目       | 当期     | 前期     |
|-----------|--------|--------|
| 資産の部      |        |        |
| 流動資産      | 7,757  | 16,290 |
| 現金及び預金    | 2,273  | 4,440  |
| 受取手形及び売掛金 | 770    | 4,110  |
| 営業投資有価証券  | 2,298  | 3,665  |
| たな卸資産     | 721    | 1,820  |
| 短期貸付金     | 1,725  | 1,302  |
| 未収入金      | 36     | 570    |
| その他       | 112    | 494    |
| 貸倒引当金     | △181   | △113   |
| 固定資産      | 3,851  | 9,484  |
| 有形固定資産    | 143    | 1,595  |
| 無形固定資産    | 18     | 714    |
| 投資その他の資産  | 3,689  | 7,174  |
| 繰延資産      | －      | 26     |
| 資産合計      | 11,609 | 25,800 |

注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

◎連結財政状態

当期末の総資産につきましては、前期末と比べ、141億91百万円減少し116億9百万円となりました。負債は、前期末と比べ、94億46百万円減少し64億99百万円となりました。総資産及び負債が減少した主な要因は、当期において、株式会社ダイフレックスを売却したことにより同社及びその子会社を連結の範囲から除外したことによるもの及び営業投資有価証券評価損の計上による営業投資有価証券残高の減少によるものであります。純資産は、47億45百万円減少し51億9百万円となりました。主な要因は、当期純損失の計上等により株主資本が43億34百万円減少したためであります。

(単位:百万円)

| 科 目               | 当期     | 前期     |
|-------------------|--------|--------|
| 負債の部              |        |        |
| 流動負債              | 6,296  | 8,142  |
| 支払手形及び買掛金         | 272    | 4,983  |
| 短期借入金             | 216    | 1,475  |
| 1年以内返済予定の長期借入金    | 47     | 572    |
| 1年以内償還予定の社債       | 400    | －      |
| 1年以内償還予定の新株予約権付社債 | 5,000  | －      |
| その他               | 359    | 1,110  |
| 固定負債              | 203    | 7,803  |
| 社債                | －      | 600    |
| 新株予約権付社債          | －      | 5,000  |
| 長期借入金             | 60     | 1,137  |
| 退職給付引当金           | 106    | 412    |
| その他               | 37     | 653    |
| 負債合計              | 6,499  | 15,946 |
| 純資産の部             |        |        |
| 株主資本              | 4,911  | 9,246  |
| 資本金               | 7,964  | 7,964  |
| 資本剰余金             | 1,445  | 4,104  |
| 利益剰余金             | △4,483 | △2,805 |
| 自己株式              | △14    | △17    |
| 評価・換算差額等          | 51     | 77     |
| 少数株主持分            | 145    | 530    |
| 純資産合計             | 5,109  | 9,854  |
| 負債純資産合計           | 11,609 | 25,800 |

注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結損益計算書 2007.4.1-2008.3.31 (単位:百万円)

| 科 目              | 当期     | 前期     |
|------------------|--------|--------|
| 売上高              | 17,084 | 24,340 |
| 売上原価             | 14,647 | 19,789 |
| 売上総利益            | 2,437  | 4,551  |
| 販売費及び一般管理費       | 5,704  | 6,630  |
| 営業利益(△損失)        | △3,267 | △2,079 |
| 営業外収益            | 113    | 167    |
| 営業外費用            | 185    | 185    |
| 経常利益(△損失)        | △3,339 | △2,096 |
| 特別利益             | 1,337  | 44     |
| 特別損失             | 3,314  | 1,520  |
| 税金等調整前当期純利益(△損失) | △5,317 | △3,573 |
| 法人税、住民税及び事業税     | 32     | 50     |
| 法人税等調整額          | △24    | 2      |
| 少数株主利益(△損失)      | △994   | △1     |
| 当期純利益(△損失)       | △4,331 | △3,624 |

注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結株主資本等変動計算書 2007.4.1-2008.3.31

|                               | 株主資本  |        |        |      |            | 評価・換算<br>差額等 | 少数株主<br>持分 | 純資産合計  |
|-------------------------------|-------|--------|--------|------|------------|--------------|------------|--------|
|                               | 資本金   | 資本剰余金  | 利益剰余金  | 自己株式 | 株主資本<br>合計 |              |            |        |
| 2007年3月31日 残高                 | 7,964 | 4,104  | △2,805 | △17  | 9,246      | 77           | 530        | 9,854  |
| 連結会計年度中の変動額                   |       |        |        |      |            |              |            |        |
| 資本剰余金の取崩による<br>欠損填補           |       | △2,650 | 2,650  |      | －          |              |            | －      |
| 当期純損失                         |       |        | △4,331 |      | △4,331     |              |            | △4,331 |
| 自己株式の取得                       |       |        |        | △2   | △2         |              |            | △2     |
| 自己株式の処分                       |       | △2     |        | 4    | 1          |              |            | 1      |
| 連結範囲の変動                       |       | △5     |        |      | △5         |              |            | △5     |
| 持分法の適用範囲の変動                   |       |        | 2      |      | 2          |              |            | 2      |
| 株主資本以外の項目の<br>連結会計年度中の変動額(純額) |       |        |        |      | －          | △25          | △384       | △410   |
| 連結会計年度中の変動額合計                 | －     | △2,658 | △1,678 | 2    | △4,334     | △25          | △384       | △4,745 |
| 2008年3月31日 残高                 | 7,964 | 1,445  | △4,483 | △14  | 4,911      | 51           | 145        | 5,109  |

連結キャッシュ・フロー計算書 2007.4.1-2008.3.31 (単位:百万円)

| 科 目              | 当期     | 前期     |
|------------------|--------|--------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △2,798 | △5,445 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 205    | △372   |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 403    | △842   |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △47    | △5     |
| 現金及び現金同等物の減少額    | △2,237 | △6,667 |
| 現金及び現金同等物の期首残高   | 4,161  | 10,828 |
| 現金及び現金同等物の期末残高   | 1,923  | 4,161  |

注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、27億98百万円のキャッシュ・アウトフローになりました。その主な要因は、仕入債務の減少及び税金等調整前当期純損失の計上によるものであります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億5百万円のキャッシュ・インフローになりました。その主な要因は、関係会社株式の売却による収入によるものであります。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億3百万円のキャッシュ・インフローになりました。その主な要因は、少数株主によるOakキャピタル1号投資事業有限責任組合への追加出資によるものであります。

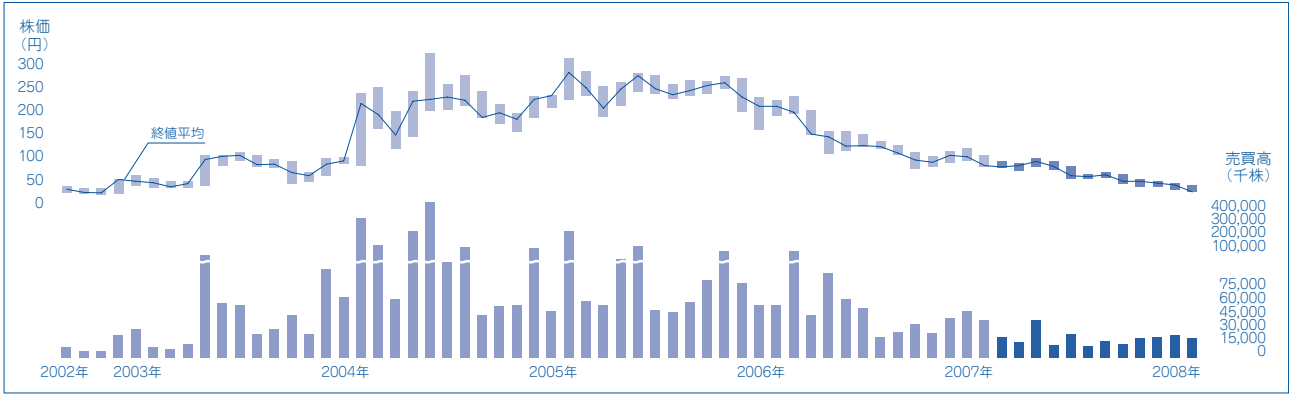
# 株式の状況

発行可能株式総数 ..... 600,000,000株  
発行済株式の総数 ..... 207,180,381株  
株主数 ..... 21,772名

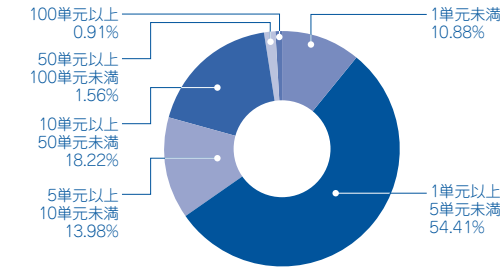
大株主〈2008年3月31日現在〉上位10名

| 株主名                 | 所有株式数   | 持株比率  |
|---------------------|---------|-------|
| 竹井 博康               | 8,753千株 | 4.22% |
| エルエムアイ株式会社          | 8,630   | 4.16  |
| エスアイエスセガインターセトルエージー | 6,540   | 3.15  |
| 日本証券金融株式会社          | 3,116   | 1.50  |
| 株式会社 三博商会           | 2,951   | 1.42  |
| 個人株主                | 1,648   | 0.79  |
| 個人株主                | 1,604   | 0.77  |
| バンク・イン・リヒテンシュタイン    | 1,241   | 0.59  |
| 株式会社 マルヒロ           | 855     | 0.41  |
| 個人株主                | 831     | 0.40  |

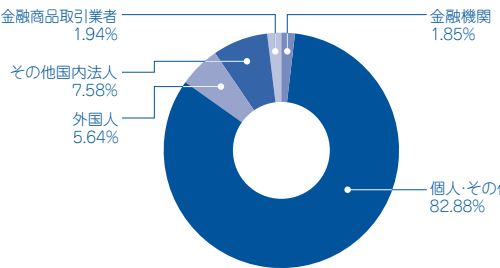
株価・株式売買高の推移



所有株式数別株主数分布状況 <2008年3月31日現在>



所有者別株式数分布状況



# 会社概要

会社概要 〈2008年3月31日現在〉

|       |                  |         |                                 |
|-------|------------------|---------|---------------------------------|
| 商 号   | Oakキャピタル株式会社     | 市 場     | 東証第二部、大証第二部、名証第二部<br>上場1949年    |
| 所 在 地 | 東京都港区赤坂八丁目10番24号 | 主幹事証券   | 大和証券SMBC                        |
| 創 業   | 1868年            | 会計監査人   | 監査法人 日本橋事務所                     |
| 設 立   | 1918年            | 取 引 銀 行 | 三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行<br>みずほコーポレート銀行 |
| 資 本 金 | 79億6,405万円       |         |                                 |

役員 〈2008年6月27日現在〉

|               |         |                |         |
|---------------|---------|----------------|---------|
| 代表取締役会長 兼 CEO | 竹 井 博 康 | 監 査 役（社外監査役）※2 | 坂 井 眞   |
| 取 締 役         | 田 中 克 司 | 監 査 役（社外監査役）※2 | 遠 藤 嶂   |
| 取 締 役         | 尾 関 友 保 | 監 査 役（社外監査役）※2 | 廣 瀬 元 亮 |
| 取締役（社外取締役）※1  | 伊 藤 良 二 | 常 務 執 行 役 員    | 品 田 耕 一 |
| 常 勤 監 査 役     | 高 橋 英 也 | 常 務 執 行 役 員    | 酒 井 久 雄 |
| 監査役（社外監査役）※2  | 永 野 義 一 | 執 行 役 員        | 渡 辺 忠 和 |

※1 会社法第2条第15号に定める社外取締役です。  
※2 会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

## 株主メモ

**事 業 年 度** 4月1日から翌年の3月31日まで  
**定 時 株 主 総 会** 6月に開催します。  
**基 準 日** 定時株主総会については3月31日、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日

**配当金受領株主確定日** 3月31日及び中間配当金の支払いを行うときは9月30日  
**公 告 の 方 法** 電子公告とします。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。

**株主名簿管理人** 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社  
**同 事 務 取 扱 所** 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社 本店  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
証券代行事務センター（〒168-0063）  
電話 0120-78-2031（フリーダイヤル）  
中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

**同 取 次 所**

**お知らせ**  
住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、下記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

●フリーダイヤル 0120-87-2031（24時間受付：自動音声案内）  
●ホームページ [http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

**< ご 案 内 >**  
**1単元(千株)に満たない株式をお持ちの株主様へ**

1単元(千株)に満たない株式をお持ちの株主様は、1単元となるよう当社から買い増すことができます。また、ご所有の単元未満株式を当社に買い取り請求いただくこともできます。詳しくは中央三井信託銀行証券代行部までお問い合わせください。また、株券保管振替制度ご利用の場合のお取扱いはお取引証券会社にお問い合わせください。